

事務事業評価シート

事務事業コード	022300	重点施策	まちづくり
事務事業名	街なか居住推進事業	所属名	都市整備部 中心市街地整備課

平成30年度 第10次鳥取市総合計画

総 位 置 計 画 づ け の 目 標 の 予 算	体系区分	コード	名 称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期	
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等		
施 標 の 予 算	施策	3203	中心市街地の活性化				
	目標の種別		平成28年度	令和2年度			
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		0人	0人	事業分類区分	ソフト(任意)	
予 算	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)		17,600人	18,400人	運営方法	直営	
	中心市街地新規開業数		0店舗	100店舗	会計区分	一般会計	
	予算事業名	街なか居住推進事業費	予算事業コード		01-02-01-07-35-03		

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地への居住希望者、空き家・低未利用地の有効利用を希望する所有者など
意図 (どのような状態にするために)	中心市街地の空き家や低未利用地などの既存ストックの利活用の促進と転入施策の強化により、新規居住者の増加を図る。
手段 (どうするのか)	住宅供給に関する総合的な相談窓口の設置や街なか居住に関する情報発信、新規居住者に対する支援などを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内 容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①空き家改修支援 ②居住モニターによる情報発信 ③総合相談窓口の設置 ④アドバイザー派遣支援 ⑤大学と連携した既存ストック実態調査	①空き家改修支援 ②居住モニターによる情報発信 ③総合相談窓口の設置 ④アドバイザー派遣支援 ⑤居住体験施設の整備・運営	①空き家改修支援 ②居住モニターによる情報発信 ③総合相談窓口の設置 ④アドバイザー派遣支援 ⑤居住体験施設の整備・運営	①空き家改修支援 ②居住モニターによる情報発信 ③総合相談窓口の設置 ④アドバイザー派遣支援 ⑤居住体験施設の整備・運営	①空き家改修支援 ②居住モニターによる情報発信 ③総合相談窓口の設置 ④アドバイザー派遣支援 ⑤居住体験施設の整備・運営
事業費	年度別実績	①空き家改修支援 ②居住モニターによる情報発信 ③総合相談窓口の設置 ④アドバイザー派遣支援	①居住モニターによる情報発信 ②総合相談窓口の設置 ③大学と連携した既存ストック実態調査	①空き家改修支援 ②居住モニターによる情報発信 ③総合相談窓口の設置 ④アドバイザー派遣支援 ⑤居住体験施設の整備・運営		
		9,712	7,646	9,106	0	0
職員数の内訳	直接経費 A	6,102	3,986	5,484	0	0
	国・県 地方債 その他 一般財源	3,030 0 0 3,072	0 0 0 3,986	0 0 0 5,484	0 0 0 0	0 0 0 0
人件費 B	正規職員	3,610	3,660	3,622	0	0
	嘱託職員	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	【KPI】中心市街地居住人口(社会増減数)	人	目標	1	1	1	1	1
		実績	60	38	90	0	0	0
2	(指標の説明)「鳥取市中心市街地活性化基本計画」に定める中心市街地の区域の居住人口(社会増減数平均をプラスとする)		目標	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成30年度の事務事業実施概要 【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-30-8331
	<p>【10次総の施策体系】3203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P201(都018) 6月補正・P37(都003)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市中心市街地活性化基本計画(第3期計画)では、「若者層のまちなか暮らしの促進」を目標とし、既存ストックの利活用を促進するとともに若者世代の転入施策を強化することにより、新規居住者の増加を目指している。 住まいに関する総合的な相談窓口の設置や街なか居住に関する情報発信、既存ストックを活用した居住に関する支援などを行い、中心市街地への転入促進を図る。</p> <p>【事業の成果】 住まいに関する総合相談窓口「住もう鳥取ネット」の運営 居住者による街なか暮らしの情報発信 街なか居住推進のための公的支援 平成28年度 平成29年度 平成30年度 • 鳥取市まちなか居住推進アドバイザー派遣事業 2件 0件 1件 • 鳥取市まちなか空き家改修支援事業補助金 2件 0件 0件 空き家情報バンクの運営 街なか居住体験施設の設置・運営</p> <p>【今後の課題・方向性】 居住人口は横ばいで推移しているものの、エリアによっては人口減少が著しい。また、少子高齢化が全市域に比べ進展しており、地域のコミュニティ機能の低下が懸念されている。これらを踏まえ、「鳥取市中心市街地活性化基本計画」(第3期計画)に基づき、目標とする「若年層のまちなか暮らしの促進」につながる施策に取り組んでいく。</p>

6. 活動指標の達成率 【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	【KPI】中心市街地居住人口(社会増減数)	6000%	3800%	9000%		
1						
2						
3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価 【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性 【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
		鳥取市中心市街地活性化基本計画(第3期計画)では、若年層のまちなか暮らしの促進を目標としている。平成30年度は、街なか居住体験施設の設置や既存ストックを活用した居住促進施策、居住者による情報発信などを実施した。既存の施策の見直しを含め、若年層の居住促進につながるより効果的な施策の検討を行っていきたい。	

事務事業評価シート

平成30年度 第10次鳥取市総合計画

1. 基本情報

位置 計画 づけ の	体系区分	コード	名 称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	事業期間	平成27年度～全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	
	施策	3203	中心市街地の活性化		
施 策 の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		0人	0人	事業分類区分
	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)		17,600人	18,400人	運営方法
予算	中心市街地新規開業数		0店舗	100店舗	会計区分
予算	予算事業名			予算事業コード	01-02-01-07-56-01
旧本庁舎・第二庁舎跡地活用検討事業費					

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

2. 事業目的【目標】	
対象 (何を、誰を)	現本庁舎及び第二庁舎跡地
意図 (どのような状態にするために)	市役所本庁舎移転後の現本庁舎、第二庁舎跡地の有効活用を行う進め方・合意形成の方法を決定する。
手段 (どうするのか)	有識者等で構成する検討委員会により、有効活用を行うために、どのような方法で市民の意見を聞き取り、全市的、将来的な観点で最も有効に活用できる進め方・合意形成の方法を決定する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

3. 事業の年度別計画実績【PLAN+DO】		今年度別の取り組みを箇条書きで記入				
内 容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	年度別計画	①府内調整会議の開催	①府内調整会議の開催	①府内調整会議の開催 ②外部検討委員会の開催	①府内調整会議の開催 ②外部検討委員会の開催	①府内調整会議の開催 ②外部検討委員会の開催
事 業 費	年度別実績	①府内調整会議の開催 (第4回:12月開催)	①府内調整会議の開催 (第5回:7月、第6回:3月開催)	①府内調整会議の開催 (3回) ②外部検討委員会の開催(3回)		
	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
事 業 費	事業費(A+B)	144	293	909	0	0
	直接経費 A	0	0	185	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	直接経費の財 源内訳	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	185	0	0
	人件費 B	144	293	724	0	0
職員数の 内訳	正規職員	0.02	0.04	0.10	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標 【PLAN・DO】

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	現本庁舎・第二庁舎の跡地利活用検討 【問合せ先】 政策企画課 0857-30-8012 【第10次総の施策体系】3203 【事業の経過及び背景】 平成23年5月に「現本庁舎周辺地域活性化検討委員会」が設置され、現本庁舎周辺地域のめざす方向性や跡地活用における基本方針案を策定した。これを受け、平成25年11月に「鳥取市庁舎整備全体構想（素案）」の中で跡地の活用方向性（案）を示すに至ったが、庁舎整備に関する決着が得られなかつたため、当時において確定的な利活用方針とはならなかつた。 その後、平成26年12月26日には鳥取市役所の位置を定める条例が可決され、今後の市役所移転後の跡地活用に関する動向が地元も含め注目されつつある。 【事業の目的及び効果】 現本庁舎は、本市の市街地の中核的な場所に位置しており、庁舎移転後の利活用は、本市の活性化に大きく寄与する可能性を持つものである。 このことを踏まえ、有識者等で構成する検討委員会により、有効活用を行うために、どのような方法で市民の意見を聞き取り、全市的、将来的な観点で最も有効に活用できる進め方・合意形成の方法を決定する。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1 現本庁舎・第二庁舎跡地活用基本構想策定進捗率					
	2 現本庁舎・第二庁舎跡地活用基本計画策定進捗率					
	3					

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	府内調整会議、外部検討委員会を適宜開催した。
事業の成果	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	府内調整会議、外部検討委員会を適宜開催し、今後の進め方の検討・情報共有を図った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
			引き続き、有識者等で構成する検討委員会により、有効活用を行うために、どのような方法で市民の意見を聞き取り、全市的、将来的な観点で最も有効に活用できるかを決める方法を決定する。
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)			

事務事業評価シート

事務事業コード	022500	重点施策	まちづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	中心市街地活性化助成事業	所属名	都市整備部 中心市街地整備課	

1. 基本情報

総 位 置 計 画 づ け の	体系区分	コード	名 称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成19年度～全期	
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等		
施 目標 の	施策	3203	中心市街地の活性化				
	目標の種別		平成28年度	令和2年度			
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		0人	0人	事業分類区分	ソフト(任意)	
予算	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)		17,600人	18,400人	運営方法	補助金交付	
	中心市街地新規開業数		0店舗	100店舗	会計区分	一般会計	
予算	予算事業名	中心市街地活性化助成事業費	予算事業コード	01-06-01-02-26-02			

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地で開催されるイベント
意図 (どのような状態にするために)	中心市街地への集客による賑わい創出、中心市街地に対する関心喚起、中心市街地活性化に取り組む人材の育成を図る。
手段 (どうするのか)	中心市街地内で公募提案型集客イベント等を実施する者に対して補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

内 容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①公募提案型イベント 開催補助	①公募提案型イベント 開催補助	①公募提案型イベント 開催補助	①公募提案型イベント 開催補助	①公募提案型イベント 開催補助
事業費	年度別実績	①公募提案型イベント 開催補助(16件)	①公募提案型イベント 開催補助(13件)	①公募提案型イベント 開催補助(11件)		
職員数の 内訳	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	5,981	5,804	4,921	0	0
直接経 費の財 源内訳	直接経費 A	5,259	5,072	4,197	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
正規職員	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
臨時職員	一般財源	5,259	5,072	4,197	0	0
	人件費 B	722	732	724	0	0

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動 指 標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	【KPI】中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)	人	目標	17600	17800	18000	18200	18400
		人	実績	14498	18547	14138	0	0
2	(指標の説明) 中心市街地主要10地点の(平日)歩行者・自転車通行量。基準値は平成26年度実績。							
	【KPI】中心市街地における歩行者・自転車通行量(休日)	人	目標	17600	17800	18000	18200	18400
3	(指標の説明) 中心市街地主要10地点の(休日)歩行者・自転車通行量。基準値は平成26年度実績。							
	(指標の説明)			目標	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 平成30年度の事務事業実施概要 【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-30-8331															
	<p>【10次総の施策体系】3203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P202（都020）</p> <p>【事業の概要】 中心市街地区域内における民間イベント等の開催を支援することにより、中心市街地への集客による賑わい創出、中心市街地に対する関心喚起、中心市街地活性化に取り組む人材の育成を目指す。</p> <p>【事業の成果】 来街者の呼び込みによる賑わい創出のほか、さまざまな媒体を通じてイベント情報が発信されることにより、中心市街地への関心喚起につながっている。また、公募提案型イベントへ補助することで、まちづくりを担う人材の育成や交流の促進につながっている。</p> <table> <thead> <tr> <th></th> <th>補助件数</th> <th>参加者数</th> <th>新規主催者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>16件</td> <td>29,321人</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>13件</td> <td>30,102人</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>11件</td> <td>27,150人</td> <td>4件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 恒常的な賑わいや商業への波及などの課題解決に向け、補助制度の見直しを行う。</p>		補助件数	参加者数	新規主催者数	平成28年度	16件	29,321人	5件	平成29年度	13件	30,102人	4件	平成30年度	11件	27,150人
	補助件数	参加者数	新規主催者数													
平成28年度	16件	29,321人	5件													
平成29年度	13件	30,102人	4件													
平成30年度	11件	27,150人	4件													

6. 活動指標の達成率 【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率1	【KPI】中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)	82%	104%	79%		
指標達成率2	【KPI】中心市街地における歩行者・自転車通行量(休日)	60%	92%	83%		
指標達成率3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価 【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	空き店舗の発生等により、特定の調査地点での歩行者・自転車通行量が減少した。商店街の振興や日常的な賑わい創出等につながる仕組みづくりに取り組んでいく。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性 【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少
		<input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了

担当課長の評価コメント
(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)

イベント件数、来場者数とともに前年度より減少した。恒常的な賑わいや商業への波及などの課題を解決するため、定期的、継続的なイベントや商店街、地域と連携したイベントに対する支援などに対する制度の見直しを行う。

事務事業評価シート

事業事業コード	022700	重点施策	まちづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事業事業名	鳥取駅前太平線再生プロジェクト事業	所属名	都市整備部	中心市街地整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	事業期間	平成23年度～全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり	根拠法令、根拠計画等	
	施策	3203	中心市街地の活性化		
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		0人	0人	事業分類区分
	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)		17,600人	18,400人	運営方法
	中心市街地新規開業数		0店舗	100店舗	会計区分
予算	予算事業名	鳥取駅前太平線再生プロジェクト事業費			予算事業コード
					01-07-05-01-31-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取駅前太平線沿道の商店街等
意図 (どのような状態にするために)	市道駅前太平線を官民共同により人が集まる魅力的な空間に変え、鳥取駅周辺の賑わい創出を図る。
手段 (どうするのか)	太平線で開催するイベントを支援することにより、鳥取駅周辺への来街者の呼び込みを図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内 容	年度別計画	①駅前太平線バード・ ハット活用イベントへの 経費補助 ②駅前太平線バード・ ハットを活用した賑わ い創出に関する業務委 託	①駅前太平線バード・ ハット活用イベントへの 経費補助 ②駅前太平線バード・ ハットを活用した賑わ い創出に関する業務委 託	①駅前太平線バード・ ハット活用イベントへの 経費補助 ②駅前太平線バード・ ハットを活用した賑わ い創出に関する業務委 託	①駅前太平線バード・ ハット活用イベントへの 経費補助 ②駅前太平線バード・ ハットを活用した賑わ い創出に関する業務委 託	①駅前太平線バード・ ハット活用イベントへの 経費補助 ②駅前太平線バード・ ハットを活用した賑わ い創出に関する業務委 託
	年度別実績	①駅前太平線バード・ ハット活用イベントへの 経費補助 ②駅前太平線バード・ ハットを活用した賑わ い創出に関する業務委 託	①駅前太平線バード・ ハット活用イベントへの 経費補助 ②駅前太平線バード・ ハットを活用した賑わ い創出に関する業務委 託	①駅前太平線バード・ ハット活用イベントへの 経費補助 ②駅前太平線バード・ ハットを活用した賑わ い創出に関する業務委 託		
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	9,903	9,913	9,604	0	0
	直接経費 A	9,181	9,181	8,880	0	0
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	9,181	9,181	8,880	0	0
人件費 B		722	732	724	0	0
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

5. 平成30年度の事務事業実施概要 【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-30-8331											
	<p>【10次総の施策体系】3203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P203(都021)</p> <p>【事業の概要】 市道鳥取駅前太平線における賑わい創出に係る運営業務を商店街振興組合に委託するとともに、イベント開催に対し支援を行うことにより、鳥取駅周辺の集客による賑わい創出を図る。</p> <p>【事業の成果】 駅前商店街や各種団体等が主体となり、集客力の向上に資するイベントを実施することで、来街者の呼び込みによる賑わい創出を図った。</p> <table> <thead> <tr> <th></th> <th>イベント件数</th> <th>来街者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>28件</td> <td>62,621人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>26件</td> <td>37,283人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>27件</td> <td>51,963人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 イベントにより集客した来街者のまちなか回遊の喚起と、定期型イベント等での活用による集客・来街頻度の向上を目指す。また、商店街の振興や日常的な賑わい創出につながる活用方策について検討を進めていく。</p>		イベント件数	来街者数	平成28年度	28件	62,621人	平成29年度	26件	37,283人	平成30年度	27件
	イベント件数	来街者数										
平成28年度	28件	62,621人										
平成29年度	26件	37,283人										
平成30年度	27件	51,963人										

6. 活動指標の達成率 【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率1	【KPI】中心市街地における歩行者・自転車の通行量(平日)	82%	104%	79%		
指標達成率2	【KPI】中心市街地における歩行者・自転車の通行量(休日)	60%	92%	83%		
指標達成率3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価 【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	空き店舗の発生等により、特定の調査地点での歩行者・自転車通行量が減少した。商店街の振興や日常的な賑わい創出等につながる仕組みづくりに取り組んでいく。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性 【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少
		<input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了

担当課長の評価コメント
(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)

平成30年度のイベントによる来場者数は、前年度と比較し増加した。今後も商店街や他のプロジェクト等駅周辺の連携を強化し、様々なアイデアを出し合う中、商店街の振興や日常的な賑わい創出等につながる仕組みづくりに取り組んでいく。

事務事業評価シート

事務事業コード	022800	重点施策	まちづくり
事務事業名	遊休不動産利活用推進事業	所属名	都市整備部 中心市街地整備課

平成30年度 第10次鳥取市総合計画

1. 基本情報

総 位 置 計 画 づ け の	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	平成26年度～全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			根拠法令、 根拠計画等	
施 標 の	施策	3203	中心市街地の活性化				
	目標の種別			平成28年度	令和2年度		
	中心市街地の居住人口(社会増減数)			0人	0人	事業分類区分	ソフト(任意)
予算	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)			17,600人	18,400人	運営方法	直営
	中心市街地新規開業数			0店舗	100店舗	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	遊休不動産利活用推進事業費				予算事業コード	01-02-01-07-52-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	一般市民を対象
意図 (どのような状態にするために)	中心市街地活性化のために、空き家・空き店舗など遊休不動産の利活用を通じて、市の課題を官民協働で解決しながらまちの魅力を高める。
手段 (どうするのか)	中心市街地に存在する遊休不動産とそれを利活用する事業者の掘り起こし、民間まちづくり会社や地域住民と連携したマッチング等を行い、エリアに適する事業を成立・持続させる。また、一定のエリアで集中した事業化を行うことでエリア周辺の価値(魅力)の向上、課題解決につなげる。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内 容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①リノベーションまちづくり構想の策定 ②講演会、リノベーションスクールの開催	①講演会、リノベーションスクールの開催 ②リノベーションまちづくり会議の開催 ③地域住民との連携体制の構築 ④リノベーションまちづくりに関する融資制度の検討	①リノベーションまちづくり会議の開催 ②民間まちづくり会社等の育成、伴走支援 ③エリアマネジメントに関する調査検討 ④地域住民と連携した遊休不動産の掘り起こし、活用方策検討	①リノベーションまちづくり会議の開催 ②民間まちづくり会社等の育成、伴走支援 ③エリアマネジメントに対するサポート ④地域住民と連携した遊休不動産の掘り起こし、活用方策検討 ⑤遊休不動産マッチング制度の新設	①リノベーションまちづくり会議の開催 ②民間まちづくり会社等の育成、伴走支援 ③エリアマネジメントに対するサポート ④地域住民と連携した遊休不動産の掘り起こし、活用方策検討
事業費	年度別実績	①リノベーションまちづくり構想を策定 ②講演会、リノベーションスクールの開催	①講演会、リノベーションスクールの開催 ②地域住民との連携体制の構築 ③リノベーションまちづくりに関する融資制度の検討	①リノベーションまちづくり会議の開催 ②民間まちづくり会社等の育成、伴走支援 ③エリアマネジメントに関する調査検討 ④地域住民と連携した遊休不動産の掘り起こし、活用方策検討		
		5,775	14,034	6,524	0	0
職員数の内訳	直接経費 A	0	8,179	730	0	0
	国・県 地方債 その他 一般財源	0	3,894	365	0	0
正規職員 嘱託職員 臨時職員	人件費 B	5,775	5,855	5,794	0	0
	正規職員	0.80	0.80	0.80	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	【KPI】遊休不動産の利活用件数(累計)	件		3	6	9	12	15
	(指標の説明)			2	4	5	0	0
2				0	0	0	0	0
	(指標の説明)			0	0	0	0	0
3				0	0	0	0	0
	(指標の説明)			0	0	0	0	0

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-30-8331
	<p>【10次総の施策体系】3203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次: 6月補正・P38(都005)</p> <p>【事業の概要】 中心市街地の遊休不動産(空き家、空き店舗など)をリノベーション手法により再生し、活用することで、産業と雇用を生み出し、まち(エリア)の魅力を高める「リノベーションまちづくり」を進めている。 平成26年度より、リノベーションスクールの開催等を通じて、遊休不動産を活用したまちづくりに取り組む「担い手」や「民間まちづくり会社」の育成、「不動産所有者」への啓発に取り組んできた。これに加えて、平成29年3月に策定した「鳥取市リノベーションまちづくり構想」に基づき、民間事業者が活動しやすい環境づくりや一定のエリアを設定しての実践的な取り組みなど、官民が一体となったまちづくりを進める。</p> <p>【事業の成果】 ・リノベーションまちづくり会議の開催 ・民間まちづくり会社等の育成、伴走支援 ・エリアマネジメントに係る調査検討</p> <p>【今後の課題・方向性】 「鳥取市リノベーションまちづくり構想」に基づき、民間との情報交換や事業推進に向けた検討の場となる「リノベーションまちづくり会議」の開催、民間が活動しやすい環境づくり、民間や地域によるエリアマネジメントの推進等に取り組む。また、遊休不動産と民間事業者のマッチングを強化するための新たな仕組みづくりを行う。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	【KPI】遊休不動産の利活用件数(累計)	67%	67%	56%		
2						
3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	平成30年度の利活用件数は、1件に留まった。目標は下回っているが、複数の遊休不動産を活用した事業化が検討されており、引き続きサポートを行っていくとともに、遊休不動産所有者と民間事業者のマッチングの強化に取り組んでいく。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
			「鳥取市リノベーションまちづくり構想」に基づき、リノベーションまちづくり会議の開催、事業化に対する伴走支援、エリアマネジメントに係る調査検討等を行った。引き続き、伴走支援や民間、地域によるエリアマネジメント推進に向けた取り組みを進めるとともに、遊休不動産所有者と民間事業者のマッチングの強化を図っていく。

事務事業評価シート

事務事業コード	036700	重点施策	まちづくり
事務事業名	鳥取駅周辺再整備事業	所属名	都市整備部 中心市街地整備課

平成30年度 第10次鳥取市総合計画

総 位 置 計 画 づ け の 目 標 の 予 算	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	全期	
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			根拠法令、 根拠計画等		
施 標 の 予 算	施策	3203	中心市街地の活性化					
	目標の種別			平成28年度	令和2年度			
	中心市街地の居住人口(社会増減数)			0人	0人	事業分類区分	建設、整備	
中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)			17,600人	18,400人	運営方法	直営		
中心市街地新規開業数			0店舗	100店舗	会計区分	一般会計		
予算	予算事業名	鳥取駅周辺にぎわい創出事業費			予算事業コード	01-07-05-01-31-04		

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的 【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取駅周辺エリア
意図 (どのような状態にするために)	中核市、連携中枢都市圏の中心市の拠点として、鳥取駅周辺の賑わいの創出、都市機能の充実を図る。
手段 (どうするのか)	「鳥取駅周辺再生基本計画(後期)」に位置づけた事業の推進や、鳥取駅周辺の新たな賑わい創出に向けた関係者との調整協議、構想策定に取り組む。

3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内 容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①鳥取駅周辺再生基本計画(前期)に位置づけた事業の推進	①鳥取駅周辺再生基本計画(前期)に位置づけた事業の推進 ②鳥取駅周辺再生基本計画(後期)の策定	①鳥取駅周辺再生基本計画(後期)に位置づけた事業の推進 ②SQプロジェクト鳥取駅周辺再整備チームによる検討	①鳥取駅周辺再生基本計画(後期)に位置づけた事業の推進 ②SQプロジェクト鳥取駅周辺再整備チームによる検討 ③賑わい創出に係る基礎調査の実施	①鳥取駅周辺再生基本計画(後期)に位置づけた事業の推進 ②SQプロジェクト鳥取駅周辺再整備チームによる検討 ③新たな基本構想の策定
事業費	年度別実績	①鳥取駅周辺再生基本計画(前期)に位置づけた事業の推進	①鳥取駅周辺再生基本計画(前期)に位置づけた事業の推進 ②鳥取駅周辺再生基本計画(後期)の策定	①鳥取駅周辺再生基本計画(後期)に位置づけた事業の推進 ②SQプロジェクト鳥取駅周辺再整備チームによる検討		
		1,755	2,524	3,872	0	0
職員数の内訳	直接経費 A	311	328	250	0	0
	国・県 地方債 その他 一般財源	0 0 0 311	0 0 0 328	0 0 0 250	0 0 0 0	0 0 0 0
人件費 B	正規職員	1,444	2,196	3,622	0	0
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標 【PLAN・DO】

活動 指 標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				17600	17800	18000	18200	18400
1	【KPI】中心市街地における歩行者・自転車の通行量(平日)	人	目標 実績	14498	18547	14138	0	0
	(指標の説明)							
2	【KPI】中心市街地における歩行者・自転車の通行量(休日)	人	目標 実績	10637	16432	14912	0	0
	(指標の説明)							
3			目標 実績	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要 【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-30-8331
	<p>【10次総の施策体系】3203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:なし</p> <p>【事業の概要】 「鳥取駅周辺再生基本計画(後期)」に位置づけた事業の推進や、鳥取駅周辺の新たな賑わい創出に向けた調査、関係者との調整協議に取り組む。</p> <p>【事業の成果】 ・「鳥取駅周辺再生基本計画(後期)」に位置づけた事業の推進のため、関係機関等との調整協議 ・S Qプロジェクト「鳥取駅周辺再整備チーム」による各種施策の検討</p> <p>【今後の課題・方向性】 「鳥取駅周辺再生基本計画(後期)」の推進を図るとともに、新たな賑わい創出に向けた基本構想を策定するため、基礎調査、S Qプロジェクトによる検討を実施する。</p>

6. 活動指標の達成率 【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	【KPI】中心市街地における歩行者・自転車の通行量(平日)	82%	104%	79%		
	【KPI】中心市街地における歩行者・自転車の通行量(休日)	60%	92%	83%		

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価 【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	空き店舗の発生等により、特定の調査地点での歩行者・自転車通行量が減少した。本市の拠点である鳥取駅周辺の賑わい創出、都市機能の強化を目指し、効果的な施策の検討を行うとともに、基本構想の策定に取り組んでいく。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性 【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
			「鳥取駅周辺再生基本計画(後期)」の推進のための調整協議を行うとともに、新たな賑わい創出に向けS Qプロジェクトによる検討を開始した。今後、賑わい創出に係る基礎調査、S Qプロジェクトによる検討を踏まえ、新たな基本構想の策定に取り組んでいく。

事務事業評価シート

事務事業コード	036800	重点施策	まちづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	既存ストック活用居住促進地域連携事業	所属名	都市整備部 中心市街地整備課	

1. 基本情報

総 位 置 計 画 づ け の	体系区分	コード	名 称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	~
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施 目標 の	施策	3203	中心市街地の活性化			
	目標の種別		平成28年度	令和2年度		
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		0人	0人	事業分類区分	建設、整備
予算	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)		17,600人	18,400人	運営方法	直営
	中心市街地新規開業数		0店舗	100店舗	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	都心居住推進事業費	既存ストック活用居住促進地域連携事業費	予算事業コード	01-02-01-07-35-11	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地域
意図 (どのような状態にするために)	地域主体での既存ストックの活用により若年層の定住促進、コミュニティ機能の充実等を図る。
手段 (どうするのか)	大学との共同研究による実態調査、地域課題の解決につながる既存ストックの活用方策の調査研究、地域主体での遊休不動産利活用に向けた仕組みづくりを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

内 容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	※年度別の取り組みを簡潔に記入 令和2年度
						①大学との共同研究による実態調査 ②地域課題の解決につながる既存ストックの活用方策の検討 ③実証事業に向けた空き物件事前調査 ④先進事例公開学習会開催
事業費	年度別実績			①大学との共同研究による実態調査 ②地域課題の解決につながる既存ストックの活用方策の検討 ③実証事業に向けた空き物件事前調査 ④先進事例公開学習会開催		
職員数の内訳	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	0	0	1,802	0	0
直接経費 A	直接経費	0	0	353	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
直接経費の財源内訳	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	一般財源	0	0	353	0	0
	人件費 B	0	0	1,449	0	0
正規職員	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00
嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	1	1	1	1
1	【KPI】中心市街地居住人口(社会増減数)	人	目標	1	1	1	1	1
			実績	62	38	90	0	0
2	(指標の説明)							
			目標	0	0	0	0	0
3	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-30-8331
	<p>【10次総の施策体系】3203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次: 6月補正・P37(都004)</p> <p>【事業の概要】 地域や大学と連携して空き家等の実態や地域課題を解決する有効活用方策について調査を行うとともに、空き家等の活用、居住希望者とのマッチングを提案することにより、民間(地域)主導による既存ストックの利活用を促進し、若年層の定住促進、地域のコミュニティ機能の充実につなげる。</p> <p>【事業の成果】 ・大学との共同研究による実態調査 ・地域課題の解決につながる既存ストックの活用方策の検討 ・先進事例公開学習会開催</p> <p>【今後の課題・方向性】 大学との共同研究による実態調査等を踏まえ、地域主体での既存ストック活用に向けた仕組みづくりを行う。また、地域課題の解決や居住促進につながる事業化の取り組みを進める。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	①前半実現 未達成件数	平成31年度	令和2年度
指標達成率	【KPI】中心市街地居住人口(社会増減数)	6200%	3800%	9000%		

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
			大学、地域と連携した空き家等の実態調査等を実施した。今後、調査結果等を踏まえ、地域主体での既存ストック活用の仕組みづくりや地域課題の解決等につながる事業化に向けた取り組みを進める。